

世界に通用する日本の グローバルデザイン展

世界的財産の日記念イベント 2025
WIPO 日本事務所

第 18 回東京オリンピック公式ポスター (1964)

亀倉 雄策

提供：オリンピックミュージアム

選考理由：日本の近代グラフィックデザイン界を先導した亀倉雄策の日本を象徴したポスター。(仙田)

日本の国旗 (不明)

選考理由：極限までシンプルに抽象化されたデザインは、日本特有の簡潔さと美意識を象徴している。(永井)

握り寿司 (江戸後期)

選考理由：素材の味を引き立て、食べやすさを追求したかたち。繊細な美意識をも感じさせる、日本の食文化を象徴する世界的なアイコンである。(永井)

富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 (1830 年頃)

葛飾 北斎

選考理由：“The Great Wave”として世界的に知られ、印象派をはじめ多くのアーティストに影響を与えた浮世絵の傑作。力強い構図と繊細な描写が、日本の自然観と美意識を象徴している。(永井)
構図の芸術。シンプルながら、これだけの奥行と強い動きを感じさせる絵画は 2D というより 3D。古典ながら、精密な計算のもとに創られた、究極のモダンデザイン。(前田)

日本酒の一升瓶 (1900 年頃)

選考理由：日本酒の流通を支える容器として昭和 10 年代に登場したと言われている。耐久性と機能美を兼ね備え、日本の酒文化を象徴するデザインである。(永井)

バタフライストール (1956)

柳 宗理

提供：株式会社天童木工

選考理由：機能と構造美を融合した不滅の名作。ニューヨーク近代美術館パーマネントコレクション。(田中)

しょうゆ卓上びん (1961)

榮久庵 憲司

キッコーマン株式会社

選考理由：日本の工業製品として、その完成度は高い。インダストリアルデザインの先導者榮久庵憲司の象徴的な作品。(仙田)
流通改革と機能美を融合させたパッケージデザインの原点。ニューヨーク近代美術館パーマネントコレクション。(田中)

“引き算の美学” シンプルな機能を追求しながら生み出された、研ぎ澄まされた美しさ、シルエットの持つ独特の緊張感が、和デザインの究極の姿だと感じる。(前田)

新幹線 0 系電車 (1964)

提供：東海旅客鉄道株式会社

選考理由：新幹線技術の原点であり、世界に先駆け超高速鉄道を見現化した象徴的存在。(田中)

国立代々木競技場第一体育館 (1964)

丹下 健三

提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター

選考理由：技術的にも釣屋根構造と巧みな動線計画、空間の卓越したダイナミック性をもつ、戦後日本を代表する建築家・丹下健三の傑出した作品。(仙田)

2000GT (1967)

トヨタ自動車株式会社

選考理由：空気抵抗を低減するための機能性を持ったボディ表面のなめらかなラインがすべての造形に意味を持、且つ無駄のない美しいカーブを作り上げている。(長谷川)

点字ブロック (1967)

三宅 精一

選考理由：視覚障害者の安全と自立を支援するために開発された。世界に広まり、ユニバーサルデザインの代表例として公共空間に欠かせないものとなった。(永井)

カッターナイフ ブラック S 型 (1970)

岡田 良男

オルファ株式会社

選考理由：安全性、機能性、使いやすさを兼ね備え、世界各地の作業現場や家庭で幅広く使われている刃物。日本で発明され、日本の精緻な技術を象徴するプロダクトである。(永井)

ウォークマン® TPS-L2 (1979)

画像提供：ソニーグループ株式会社

選考理由：ソニーノベーションを代表する生活提案型製品の象徴。(田中)

ウォシュレット (1980)

TOTO 株式会社

画像：ウォシュレット アプリコット (2023)

選考理由：清潔性と快適性をユーザー視点で追求した衛生設備である。細やかな配慮や清潔を重んじる日本らしい精神が形となっている。(永井)

BLITZ (1981)

川上 元美

選考理由：コンパクトで簡素、そして折りたたむ。日本の技術に裏付けされたファニチャーデザインの傑作。(仙田)

シンセサイザー DX7 (1983)

ヤマハ株式会社

選考理由：デジタルシンセサイザーに必要な多様な機能を極限までそぎ落として配置し、プレーヤーの躍動を邪魔させないソリッドで突起のない新しいキーボードの原型。(長谷川)

プロフィールプロ KX-21HV1 (1986)

画像提供：ソニーグループ株式会社

選考理由：ブラウン管を包むスクエアなフレーム構造により、堅牢でかつ軽快さを醸し出した他に類のないファンクショナルデザイン。(長谷川)

フジカラー 写ルンです (1986)

提供：富士フイルムホールディングス株式会社

意匠登録第 760922 号

選考理由：Snap camera というカメラの新しい価値を紙パッケージという手法で昇華し、商品であり、且つブランドの商標としての効果をもたらした。(長谷川)

G-SHOCK AW-500 (1989)

カシオ計算機株式会社

意匠登録第 842932 号

米国意匠特許第 D320,750 号

選考理由：G ショックの中でアナログとデジタルを融合させ、これまでの凹凸のある形状をなくし円を基本に、ベルトとムーブメントの一体感のある美しさを実現した。(長谷川)

ハンディカム® CCD-TR55 (1989)

画像提供：ソニーグループ株式会社

選考理由：軽量小型のカムコーダーの原型、ユーザーの新しい撮影スタイルを作り、まさに人とカメラの一体感を実現した唯一のデザイン。(長谷川)

ユーノス ロードスター (初代) (1989)

田中 俊治

マツダ株式会社

意匠登録第 790594 号

選考理由：機能を優しいフォルムで纏いその車に乗る人の体験を創造させられるデザイン。小型スポーツカーの中で世界に残る原型。(長谷川)

シンプルでフレンドリー。普遍的かつアイコン的な表現は、時間が経つほど魅力が増し、30 年以上経った今でも愛好家が多い。（前田）

PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE (1993)

三宅 一生

提供：株式会社イッセイミヤケ

アートディレクション：佐藤 卓

撮影：宇戸 浩二

選考理由：我が国のファッション界を代表するファッションデザイナー三宅一生が日本的な素材と折りをテーマとしたデザインで世界を驚かせた。我が国のファッション界を代表する作品。（仙田）

服飾の世界で新しい技術と製法から導き出された折のスタイルにより誰もがしなやかな美しさに変えられることのできるデザインを作り上げた。（長谷川）

QR コード (1994)

株式会社デンソー

「QR コード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

選考理由：日本発のデジタルインフラとして、世界中で普及している。シンプルな形状で情報への迅速なアクセスを可能にし、社会のデジタル化を支えている。（永井）

聖アンデレ教会 (1996)

香山 壽夫

選考理由：西洋と東洋の融合としてきわめて現代日本を象徴する作品。簡素で美しさのある凛とした空間造形。（仙田）

壁掛式 CD プレーヤー CPD-4 (2000)

株式会社良品計画

選考理由：世界にファンをつくった無印良品のシンプルデザインを象徴する製品。（田中）

TMAX (2000)

ヤマハ発動機株式会社

選考理由：スクーターの世界にオートマチックスーパースポーツというユーザーのライディングスタイルを体験のデザインとして、カテゴリーを築いたデザイン。（長谷川）

AQUOS C1 (2001)

喜多 俊之

SHARP 株式会社

画一的な TV モニターのなかで、日本のオリジナリティとして新たな世界を拓いた。（田中）

VMAX 2 代目 (2008)

ヤマハ発動機株式会社

選考理由：強さと繊細さの協調。グローバルに通用する大陸的で強い骨格を持たせながら、精緻で細かなところまで研ぎ澄まされたカタチは、日本デザインの新たな境地を開拓した作品。（前田）

HIROSHIMA アームチェア (2008)

深澤 直人

株式会社マルニ木工

選考理由：素材の良さを最大限引き出した自然なフォルム。木という素材と長い時間向き合って出来上がった“新たな和椅子のスタン

ダード” 和食に通じる清らかさ、奥深さを感じる。（前田）

JR 東日本 E259 系電車 (2009)

GK インダストリアルデザイン

東日本旅客鉄道株式会社

選考理由：ジャパンブランドを体現し日本の玄関口を象徴するエアポートトレイン。（田中）

鈴木大拙館 (2011)

谷口 吉生

提供： 鈴木大拙館

選考理由：日本の知性を建築空間として表現した傑作。父吉郎の精神、記念碑性をさらに建築環境として昇華した作品。（仙田）

ヘルプマーク (2012)

グラフィックデザイン：永井 一史

プロダクトデザイン：柴田 文江

選考理由：外見から分かりにくい障害や疾患を持つ人々を支援するためのデザイン。現在は日本国内だけの展開であるが、世界で普及することを願っている。（永井）

RX-VISION (2015)

マツダ株式会社

意匠登録第 1552418 号

選考理由：「魂動-Soul of Motion」というすぐれたコンセプトによりつくられた日本の自動車デザインの極み。（仙田）

“CAR as ART“をテーマに、光と影が表現する生命感を人の手と高度なデジタルシミュレーションの融合で創り上げた作品。精密且つ美しい造形は日本ならではの“質”の表現だと思ふ。（前田）

ロードスター (4 代目) (2015)

マツダ株式会社

意匠登録第 1521541 号

選考理由：LWS の新たなグローバルスタンダード。軽量コンパクト、優しく愛着の持てる消費されない形、低価格、全てを妥協なく高次元でバランスさせた日本プロダクトの代表作。（前田）

ネオレスト NX (2017)

吉岡 佑二 中林 大昂 谷 稔

TOTO 株式会社

画像：ネオレスト NX (2022)

意匠登録第 1558397 号他

選考理由：座ってみたくなる便座。トイレの世界観を変えてしまう美しいシルエット。通常見せない部分（例えば背面）の形状にまで気を配ったフォルミングは“おもてなし”の革命と言える。（前田）

aibo® ERS-1000 (2018)

画像提供：ソニー株式会社

選考理由：リアル過ぎない具象化された形状ながら、本物より愛着のわく（かも知れない）雰囲気を持った相棒。要素を極限まで引いた上で出来上がった愛くるしい表情創りはアート。（前田）

新幹線 N700S 電車 (2020)

福田 哲夫 福田 一郎 木村 一男

蓮見 孝 井上 雅弘

東海旅客鉄道株式会社 エイアンドエフ株式会社

提供：東海旅客鉄道株式会社

選考理由：日本の公共交通のデザインとしての新幹線を象徴するデザイン。（仙田）

EOS R3 (2021)

松尾 貞治

キヤノン株式会社

意匠登録第 1694089 号

中国意匠登録第 ZL202130537535.3 号

選考理由：世界をリードする日本の光学機器シンボル。（田中）

石川県立図書館 (2022)

仙田 満

撮影：藤塚 光政

選考理由：家具デザインは川上元美、サインデザインは廣村正彰、照明デザインは面出 薫、ディスプレイデザインは水間政典、ランドスケープデザインは柳原博史、構造デザインは金箱温春という日本を代表するデザイナーの協働作品。写真は写真家 藤塚光政の作品。協働、協力、共感による現代環境デザインプロダクツの象徴。（仙田）

ポータブルシアターシステム HT-AX7 (2023)

画像提供：ソニー株式会社

選考理由：世界のデザイン賞で絶賛評価されるソニーデザインの DNA。（田中）

プリウス (2023)

トヨタ自動車株式会社

選考理由：世界に先駆けハイブリッドカーを市販化したプリウスの集大成。（田中）

選考委員（五十音順）

仙田 満 氏

環境建築家・環境デザイン研究所会長

田中 一雄 氏

株式会社 GK デザイン機構

代表取締役社長・CEO

永井 一史 氏

株式会社 HAKUHODO DESIGN

代表取締役社長

長谷川 豊 氏

MY-THOUGHTS 代表／Design Advisor

前田 育男 氏

マツダ株式会社 エグゼクティブフェロー

デザイン・ブランドスタイル監修

展示は、製品の発売年やデザイン年に基づき、年代順に構成されています。

意匠登録番号は、各企業よりご提供いただいた情報をもとに記載しています。